

令和4年度第4回(通算第116回)
山口国際文化化学研究会

■ 「第二言語習得研究と英語教育

－コミュニケーション能力を育むということ－」

■ 発表者 国際文化化学研究科 教授 岩中 貴裕

発表の概要

発表者は Instructed Second Language Acquisition (学びの場での第二言語習得) を専門としている。本研究会では過去に行ってきた研究から2つの事例を紹介する。一つ目は学習指導要領が教育現場に与える影響を明らかにすることを試みた研究である。2014年度から5年間にわたって約6,000名の大学1年生を対象に行った調査の概要を報告する。二つ目は言語学習観が英語力に与える影響を明らかにすることを試みた研究である。言語学習観は分析的学習観と体験的学習観に大別できる。これまでの調査から、1) 英語力のレベルに関係なく日本人英語学習者の多くは分析的学習観が高い、2) 英語力が高い学習者ほど体験的学習観が高くなる、3) 英語力が高い学習者ほど英語に対する自信度が高まる、という結果が得られている。最後に、現在取り組んでいるテーマとしてAIと外国語学習について触れる。機械翻訳に飛躍的な進歩をもたらされたのは2016年のことである。この年にGoogleニューラル機械翻訳(Google Neural Machine Translation)が発表された。発表者は現在、英語の論文を執筆する際はDeepLを使用している。論文やビジネス文書の翻訳については、十分に使用できるレベルである。AIを外国語教育にどのように取り入れるかについて発表者なりの考えを述べたい。

■ 日時 2022年11月16日(水曜日)16時20分より

■ 場所 北キャンパス 3号館 C311 教室

■ 主催 山口県立大学大学院 国際文化化学研究科

(一般参加可)

教員世話人 井竿 富雄

院生世話人 大澤 郁也、豊嶋 由美子、古川 恵子、永木 健一、王 鏡洲、張 琳、黄 誉婧、于 霖、藤原 椋